

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	実習	4	1	デザイン	必修	情報デザイン 実教出版

### 1. 学習の到達目標

工業の各分野（デザイン）に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てることをねらいとしています。そこで本科の1年次では、基礎デザインの実習を行うものとし、それに必要な用具や道具の正しい使い方を習得し、さらに必要不可欠な色彩や構成の学習を加えた基礎構成などのビジュアルデザイン実習とします。

### 2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	課題の趣旨に関心を持ち、早く丁寧な作業ができるように意欲的に取り組むことができる。	課題の提示から提出まで制作過程を計画的な判断のもと取り組み、表現することができる。	道具の正しい使い方を理解し、目的に合わせて適切な技能を身につけることができる。	課題の条件を正確に理解して制作し、合評会において学習した知識を生かすことができる。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、課題などの提出物の状況、公募作品の出品状況やその実績などを総合的に判断して評価します。			

### 3. 教科からのメッセージ

デザインと聞くと一般的には、ポスターや色彩パターンをあげる人が多いと思います。実習（1年）では、デザイナーの卵としてプロ御用達の発色の良いポスターカラーなどの用具や、面相筆や烏口などの道具を正しく使用して表現できるように学習します。それらの技術の習得に始まり、理想の表現に必要な色彩や構成の基礎知識を習得します。また、デザインは、ある情報をより多くの人に正しく理解してもらえるように表現できなくてはなりません。そのために必要な基礎知識も学習していきます。

## 1年 実習 年間指導計画表

単位数（4単位） 教科書：情報デザイン（実教出版）

目標	デザインを学ぶ上で避けては通れない基本的技術と知識を身につける。また演習作品の制作を通して構成力や色彩感覚を身につける。		
月	大項目	中項目	時数
4 5	構成1 合評会	ストライプ練習	20
6 7	構成2 合評会	同心円とストライプを使った構成	20
9 10	構成3 合評会	立体感のある構成（立体・空間表現） （紙と角柱による構成）	20
10 11	構成4 合評会	パターンデザイン構成	20
12	構成5 合評会	ポスターの制作（B2） （九州山口陶磁展のポスター制作）	30
1 2	構成6 進級課題 合評会	ポスターの制作2（B3） （個展のためのポスター制作）	30